取 扱 説 明 書
セントリー「ファイアー・セーフ」耐火金庫シリーズ

この度は、セントリー製品をご購入頂きまして誠にありがとうございます。

⚠ 本書には、お客様の大切な情報が記載されています。
使用開始後は、金庫の中には入れず、別のところに大切に保管し、他者の目に触れないように十分ご注意ください。

JAテンキー式シリーズ

JSWダイヤル式シリーズ

JSWテンキー式シリーズ

MSテンキー式シリーズ

MSダイヤル式シリーズ

※トレイ・棚板・鍵付ドロワーなどの付属品はモデルにより異なります。
金庫内のファイル・ノートなどの収納物は付属されておりません。

目 次

・ご注意　ご使用前に必ずお読みください…… P2
・保証書…… P2
・お客様ご使用製品情報…… P3
・ダイヤル式金庫の説明（JSW・ＭＳシリーズ）…… P4〜P5
・テンキー式金庫の説明(JAシリーズ)…… P6〜P9
・テンキー式金庫の説明(JSW・MSシリーズ)…… P10〜P13
・床への固定について…… P14
・耐性テストの説明…… P14
・こんなときは…… P15
・約款/お問合せ窓口…… P16

SentrySafe

⚠ご注意！ ご使用前に必ずお読みください。

はじめに

本製品は耐火性能を重視した耐火金庫であり、防盗用金庫とは性能が異なります。防盗用金庫のような耐破壊強度はありません。
・可能な限り耐火金庫を隠してください。直射日光や熱が当たる場所は避けてください。変色・変形の原因となります。
・持ち去り防止のため、床に固定することも可能です。
・暗証番号のわかる本取扱説明書や書き写した書類の取扱は十分にご注意ください。

安全にご使用いただくためのご注意

1）耐火金庫の開閉は静かに行い、指はさみに十分ご注意ください。また、勢いよく開閉すると他のものを傷つけたり耐火金庫の故障の原因となります。
2）耐火金庫は正しい向き（底面が下）の状態でご使用ください。特に扉を上向きにした状態で使用すると、閉める時、手をはさんだり収納物を壊す危険があります。
また、扉を開けた時、扉が本体蝶番から外れることがあり危険です。
3）耐火金庫の内容積に合わない大きさの物を入れると扉が閉まらなかったり収納物を壊すことがあります。
4）耐火金庫の設置場所が耐火金庫及び収納時の重量に耐えられることを事前にご確認ください。
5）耐火金庫全体及び扉を改造したり分解したりしないでください。耐火金庫の故障、性能の低下につながります。
6）お子様にはさわらせないでください。手や指をはさむ恐れがあります。
7）耐火金庫の設置は水平な場所に置いてください。扉の開閉に支障をきたす恐れがあります。
8）カンヌキが出ている状態で、扉を強く閉めないでください。本体にカンヌキがあたり、施錠機構の故障の原因になります。
9）時々、耐火金庫の開閉を行い内部の通気を行ってください。（湿気防止として）

保管物について

●いかなる状況においても、セントリー金庫内のすべての保管物があらゆる種類の火災またはその他の損傷に耐えうることを証明するものではありません。
またセントリー金庫内の保管物に対しては一切の責任を負いません。
●武器の保管はできません。この製品は火器、弾薬、爆薬、起爆装置あるいは武器の保管用に製造された製品ではありません。これら武器類を製品内に保管したために生じる損害・損傷に対して、セントリー・グループ社は一切の責任・責務を負いません。
●フロッピーディスク、カートリッジ・テープ、オーディオ・ビデオカセット、写真ネガ等の保管はメディアセーフシリーズ(1710、6720)以外の製品では火災時にデータを保護できません。また、真珠などの宝石類もメディアセーフシリーズ以外では保護できないものもあります。
■湿気に弱い物の保管について
切手類やその他湿度に弱い微妙な製品を保管する場合には、密封容器に入れて耐火金庫に保管してください。
■真珠および一部の宝石類の保管について
真珠、及び一部の宝石は高熱のために変色したり、汚損する恐れがあります。宝石店に問合せ、お客様の宝石類の耐熱性をご確認ください。

故障に関する修理・保証について

1）購入日から1年以内に、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で構造的及び機械的欠陥にて故障したと認められる場合、無償にて修理、もしくは、修理が困難な場合は同型の製品と交換させていただきます。その際に、「保証書」または「購入日を証明できるもの(領収書、納品書、送状、請求書など)」をご提示いただく必要がございます。
2）火災による製品の損傷(ライフタイムワランティー)
最初の購入者による使用期間内に本製品が火災により損傷を受けた場合、損傷した製品と同等の製品と交換いたします。
その際に、最初の購入者の名前・住所と、損傷した製品の写真を含む火災の事実をご提示いただく必要がございます。
3）保証期間内であっても次の場合には有償修理になります。
イ.使用上の誤り及び当社または当社指定以外の業者による修理や改造などによる故障及び損傷。
ロ.お買い上げ後の移動・落下による故障及び損傷。
ハ.カンヌキ等の特定部品の故障の場合。
ニ.保証欄への押印または購入証明の提示がない場合。

詳しくは、セントリーカスタマーサービスセンター(03-5447-5311)にご相談ください。

SentrySafe 保証書

保証期間： **構造的及び機械的欠陥・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1年間** **火災による製品の損傷(ライフタイムワランティー)・・・最初の購入者に限る**	**お買い上げ日　　年　　月　　日**
ご住所 **お名前　　様** **お電話　　（　　）**	**販売店：** **住所** **店名** **電話　　（　　）**　　印

お買い上げ店の証明印がなくても、お買い上げ年月日を証明できるもののご提示があれば、本書は有効です。
領収書、納品書、送状、請求書なども購入を証明できるものとなります。本説明書同様、大切に保管してください。

⚠ 重要 お客様ご使用製品情報

下記の情報は、お客様の大切な情報となります。

使用開始後は、金庫の中には入れず、別のところに大切に保管し、他者の目に触れないように十分ご注意下さい。
ご質問へのお答え、保証サービスの際に、下記の番号が必要となります。

型式番号	
製造番号	
ダイヤル番号 (ダイヤル式製品のみ)	
補助キー番号 (カギ番号 ※一部製品は対象外)	
工場暗証番号 (テンキー式製品のみ)	

本製品の工場暗証番号及びダイヤル番号は変更削除することが出来ません。
※万一、お客様が新規登録した番号を忘れてしまった場合、工場暗証番号を用いて解錠することができます。

お客様ご購入の上記型式番号に従い、該当の製品説明ページにお進みください。

■ 型式番号が【JSW○○○○】または【MS○○○○】の**ダイヤル式金庫** ……▶ 4ページ～5ページ

■ 型式番号が【JA ○○○○】の**テンキー式金庫** ……▶ 6ページ～9ページ

■ 型式番号が【JSW○○○○】または【MS ○○○○】の**テンキー式金庫** ……▶ 10ページ～13ページ

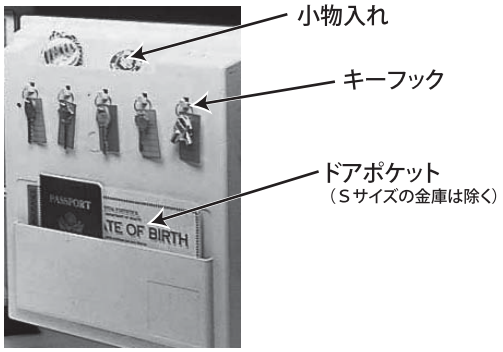
14ページより、全商品共通の説明ページとなります。

SentrySafe

ダイヤル式金庫　●対象型式番号●　【JSW○○○○】または【MS○○○○】

・型式番号【JSW○○○○】はダイヤルと補助キーによる2重の施錠が可能な製品です。
・型式番号【MS○○○○】はダイヤルでの施錠が可能な製品です。
※型式番号【MS○○○○】にはプランジャー機構がありません。

本体の名称



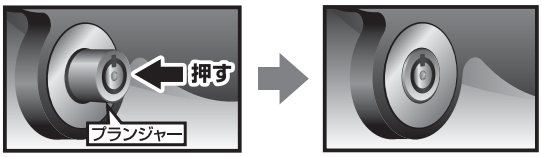
※トレイ・棚板・鍵付ドロワーなどの付属品はモデルにより異なります。
金庫内のファイル・ノートなどの収納物は付属されておりません。

補助キーによる解錠・施錠方法　※型式番号【MS○○○○】の製品を除く

解錠時

①補助キーを突起のある方を上にし、鍵穴に挿入します。
②補助キーを軽く前方に押しながら、右に1/4回転させます
③プランジャーが前方に出てきます。キーロックが解錠されます。
④補助キーを左に1/4回転させてから、抜き取ります。
※補助キーは回転させないと抜き取れません。

施錠時



①プランジャーを押します。
②キーロックが施錠されます。

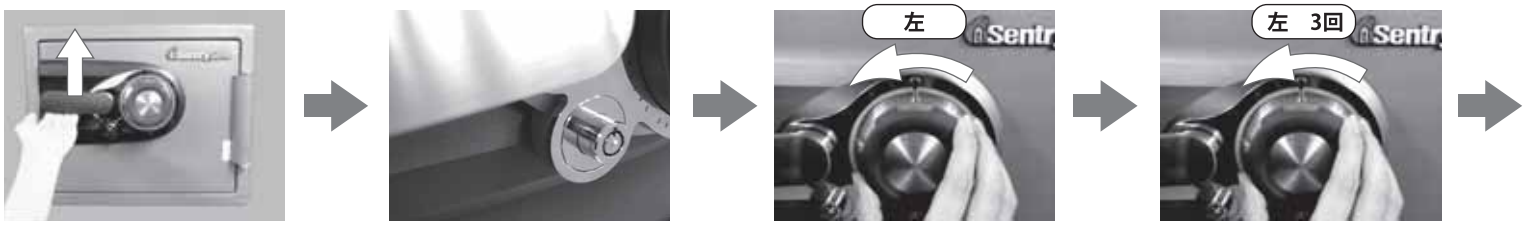
⚠ご注意！

補助キーがなくても、押すだけで施錠できますので、物等がぶつからないようにご注意ください。

※プランジャーが押し込まれている状態のときは、ダイヤルで解錠手順を行っても扉は開きません。

扉の開け方　最初に、お客様のダイヤル番号は、本説明書3ページのダイヤル番号欄をご確認ください。

1番目の数字 — **2番目の数字** — **3番目の数字** 以上のようになります。お間違えのないようご確認ください。



①ハンドルを上に上げてください。（軽く上にあげて離してください）
②プランジャーが上図のように突出している状態を確認してください。（【MS○○○○】にはついていません。）
③左へ回しダイヤルを「0」に合わせます。
④左へ回し【1番目の数字】を3回合わせます。

⑤右へ回し【2番目の数字】を2回合わせます。
⑥左へ回し【3番目の数字】を1回合わせます。
⑦ハンドルを下げて手前に引くと扉が開きます。

※番号を通り過ぎてしまったら、「扉の開け方③」からやり直してください。※カンヌキが引込まない場合は、「扉の開け方①」からやり直してください。

扉の閉め方

①扉のカンヌキが出ていないことを確認してください。
（カンヌキが出ている場合は「扉の開け方③」からやり直しカンヌキを引っ込めてください。）

②庫内の収納物が扉に挟まっていないことを確認してください。

③扉を静かに閉め、ハンドルを水平位置まで押し上げてください。

④ダイヤルを左右どちらかに3周以上回してしてください。

⑤ハンドルが下がらないことを確認してください。
（ハンドルが下まで動かなければ施錠されたことになります。）

※トレイ・棚板・鍵付ドロワーなどの付属品はモデルにより異なります。
金庫内のファイル・ノートなどの収納物は付属されておりません。

扉が閉められない及び施錠できない場合は・・・

・カンヌキが出ていませんか？

→ カンヌキが出ている状態で扉を閉めようとすると、本体に傷をつけるだけでなく、施錠機構の故障につながります。カンヌキの損傷修理は有償となります。

・カンヌキ穴、もしくは、本体と扉の間に収納物がはさまっていませんか？

→ 収納物をはさんだ状態で強引に閉めると金庫が開かなくなることがあります。

・庫内に物を入れ過ぎていませんか？トレイなどが前に出過ぎていませんか？

→ 強引に閉めると金庫が開かなくなることがあります。

・ハンドルを水平位置に移動するには若干の力を要します。

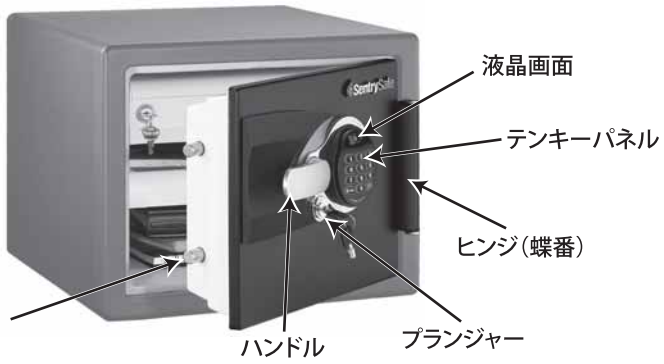
→ 庫内密封によりハンドルが重くなりますが、性能に問題はありません。

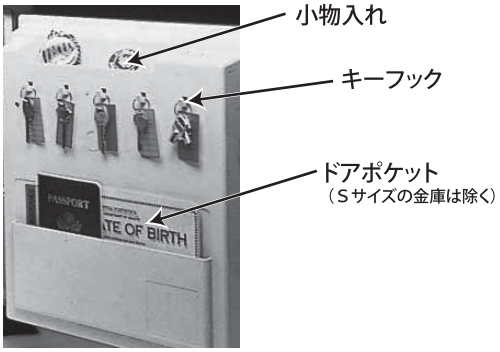
※トレイ・棚板・鍵付ドロワーなどの付属品はモデルにより異なります。
金庫内のファイル・ノートなどの収納物は付属されておりません。

テンキー式金庫　●対象型式番号●　【JA○○○○】

・型式番号【JA○○○○】は、テンキーと補助キーの2重の施錠が可能な製品です。

本体の名称





※トレイ・棚板・鍵付ドロワーなどの付属品はモデルにより異なります。
金庫内のファイル・ノートなどの収納物は付属されておりません。

ご使用開始前準備・電池交換の方法

テンキーパネルのネジの取り外しには、プラスドライバーが必要です。

①テンキーパネル下にあるネジを取り外してください。

②テンキーパネルを右に回して開けてください。

③電池を入れてください。(単3アルカリ乾電池4本)

④配線コードの巻き込みに注意し、テンキーパネルを左に回し元に戻してください。

※液晶パネルに [▮▮] が表示された場合は、電池を交換してください。

※付属の電池はモニター用ですので輸入の状況により性能が劣化している場合があります。

※電池のプラス・マイナス方向を間違えないようにしてください。

※非アルカリ (マンガン) ・充電式電池・オキシライド乾電池は使用しないでください。

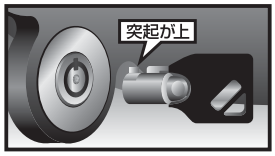
※交換するときは全ての電池を新品の単 3 アルカリ乾電池と交換してください。
（電池は消耗品ですので保証対象外となります）

※電池を交換するときにパスコードが消えてしまう可能性があります。

※電池交換後は工場暗証番号もしくはオリジナルコードで解錠してください。

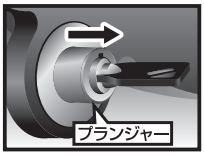
補助キーによる解錠・施錠方法

解錠時

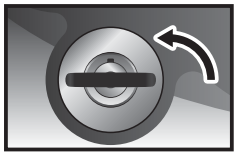


①補助キーを
突起のある方を上にし、
鍵穴に挿入します。

②補助キーを軽く前方に
押しながら、
右に1/4回転させます

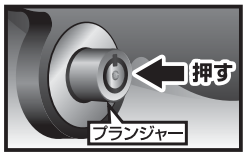


③プランジャーが前方に
出てきます。
キーロックが解錠されます。

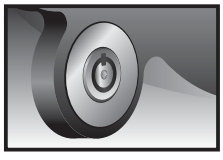


④補助キーを
左に1/4回転させてから、
抜き取ります。
※補助キーは回転させないと抜き取れません。

施錠時



①プランジャーを押します。



②キーロックが施錠されます。

⚠ ご注意！

補助キーがなくても、押すだけで施錠できますので、物等がぶつからないようにご注意ください。

※プランジャーが押し込まれている状態のときは、テンキーで解錠手順を行っても扉は開きません。

扉の開け方

お客様の工場暗証番号は、本説明書3ページの工場暗証番号欄をご確認ください。
※操作例は工場暗証番号ですが、お客様が設定した暗証番号でも同様の手順となります。

①ハンドルを水平位置まで上げてください。
(軽く上に上げて離してください。)

②プランジャーが上図のように突出しているかご確認ください。
突出していない場合は、鍵が施錠されています。
補助キーにて解錠操作を行ってください。

③工場暗証番号(3ページの工場暗証番号欄を参照)の数字キーを順番に押してください。

④PROG/ENTERキーを押してください。

⑤解錠され、液晶に解錠マークが表示されます。

⑥4秒以内にハンドルを下げて扉を開けてください。

※扉が開いた状態でカンヌキが出てしまった (閉まらない) 場合は手順③からやり直してください。
※4 秒以内にハンドル操作をしないと、再び自動施錠されます。
※暗証番号は、それぞれ 5 秒以内に押してください。
※暗証番号を押し間違えたときは、CLEAR キーを押し、入力し直してください。
※工場暗証番号の変更・削除はできません。
※お客様が設定した独自の暗証番号でも、同じ操作で開けることができます。暗証番号の設定方法は 8 ページから 9 ページを参照してください。

⚠ ご注意！

セキュリティーロック(遅延モード)

登録されていない暗証番号が3回続けて入力されると、約2分間のセキュリティーロックが自動的に作動します。セキュリティーロックの作動中は、正しい暗証番号を入力しても耐火金庫のロックを解錠することはできません。

扉の閉め方

①扉のカンヌキが出ていないことを確認してください。
(カンヌキが出ている場合は「扉の開け方③」からやり直しカンヌキを引っ込めてください。)

②庫内の収納物が扉に挟まっていないことを確認してください。

③扉を静かに閉め、ハンドルを水平位置まで押し上げてください。

④ハンドルが下がらないことを確認してください。
(ハンドルが下まで動かなければ施錠されたことになります。)

扉が閉められない及び施錠できない場合は・・・

・カンヌキが出ていませんか?
→ カンヌキが出ている状態で扉を閉めようとすると、本体に傷をつけるだけでなく、施錠機構の故障につながります。カンヌキの損傷修理は有償となります。

・カンヌキ穴、もしくは、本体と扉の間に収納物がはさまっていませんか?
→ 収納物をはさんだ状態で強引に閉めると金庫が開かなくなることがあります。

・庫内に物を入れ過ぎていませんか?トレイなどが前に出過ぎていませんか?
→ 強引に閉めると金庫が開かなくなることがあります。

・ハンドルを水平位置に移動するには若干の力を要します。
→ 庫内密封によりハンドルが重くなりますが、性能に問題はありません。

※トレイ・棚板・鍵付ドロワーなどの付属品はモデルにより異なります。
金庫内のファイル・ノートなどの収納物は付属されておりません。

暗証番号の設定

暗証番号の種類

第1コードの「工場暗証番号」、第2コードの「オリジナルコード」、第3コードの「パスコード」の3段階での管理が可能です。

・第1コードの工場暗証番号は、変更・削除ができませんので、お客様にて大切に管理してください。
　お客様の工場暗証番号は、本説明書3ページの工場暗証番号欄をご確認ください。
・第2コードのオリジナルコードは、第1コードの工場暗証番号を用いお客様にて設定ができます。
・第3コードのパスコードは、第2コードのオリジナルコードを用いお客様にて設定ができます。
※パスコードのみ、電池を交換すると消える可能性があります。その際は、再度パスコードの設定をしていただく必要があります。

①製造時より設定されている暗証番号（変更・削除できません）

暗証番号の種類	登録数	登録・変更・削除	設定可能な桁数	備　考
第1コード 工場暗証番号 (3ページをご参照ください)	1個のみ	×	——	製造時に当耐火金庫固有に設定されており、 変更・削除はできません! ※取り扱いには充分ご注意ください

②お客様に設定していただく暗証番号

暗証番号の種類	登録数	登録・変更・削除	設定可能な桁数	備　考
第2コード オリジナルコード	1個のみ	○ （工場暗証番号が必要）	4〜8桁	暗証番号「0000」は設定できません。
第3コード パスコード	最大6個	○ （オリジナルコードが必要）	4〜8桁	暗証番号「0000」は設定できません。

暗証番号の登録・変更・削除

【登録・変更・削除の前に】

液晶パネルに何も表示されていないことを確認してください。キー操作はそれぞれ5秒以内に行ってください。
※5秒以上経過すると液晶パネルに ERR と表示され、3回の信号音が鳴り作業が自動終了します。

《（第2コード）オリジナルコードの登録・変更方法》

※登録と変更方法は同じ手順になります。

1 PROG ENTER キーを1回押します。

2 工場暗証番号（5桁）の数字キーを順番に押して下さい。
＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ←液晶下段に表示が出ます

3 PROG ENTER キーを1回押します。
□ が表示される場合：オリジナルコード登録無し
✱ が表示される場合：既にオリジナルコード登録済み
注）✱が表示された状態で作業を進めると既存のオリジナルコードは上書きされ、新しいオリジナルコードに変更されます。

4 オリジナルコードとして登録する番号の数字キーを順番に押します。（4〜8桁）
※「0000」の暗証番号は設定できません。

5 PROG ENTER キーを1回押します。
"ピーピー"と信号音が2回鳴ります。
登録完了

6 正しく登録されたかどうか、オリジナルコードで解錠できることを確認してください。

《（第2コード）オリジナルコードの削除方法》

1 PROG ENTER キーを1回押します。

2 工場暗証番号（5桁）の数字キーを順番に押して下さい。
＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ←液晶下段に表示が出ます

3 PROG ENTER キーを1回押します。

4 数字キーのゼロを4回押します。
0 0 0 0 と押します。

5 PROG ENTER キーを1回押します。
"ピーピー"と信号音が2回鳴ります。
削除完了

6 正しく削除されたかどうか、登録していたオリジナルコードで解錠できないことを確認してください。

《(第3コード)パスコードの登録・変更方法》

※オリジナルコードを登録しないとパスコードは登録できません。

1 PROG ENTER キーを2回押します。

2 オリジナルコードとして登録した番号の数字キーを順番に押します。(4〜8桁)

3 PROG ENTER キーを1回押します。

4 PROG ENTER キー又は、CLEAR を押して
パスコードを登録する場所を選びます。
(最大6個のパスコードが設定できます。)

PROG ENTER キー…右に移動　CLEAR キー…左に移動

□が表示される場合
オリジナルコード登録無し

✱が表示される場合
既にオリジナルコード登録済み
注)✱が表示された状態で作業を進めると既存のオリジナルコードは上書きされ、新しいオリジナルコードに変更されます。

5 パスコードとして登録する番号の数字キーを順番に押します。(4〜8桁)

6 PROG ENTER キーを1回押します。
"ピーピー"と信号音が2回鳴ります。
登録完了

7 正しく登録されたかどうか、登録したパスコードで解錠できることを確認してください。

《(第3コード)パスコードの削除方法》

1 PROG ENTER キーを2回押します。

2 オリジナルコードとして登録した番号の数字キーを順番に押します。(4〜8桁)

3 PROG ENTER キーを1回押します。
"ピーピー"と信号音が2回鳴ります。

4 PROG ENTER キー又は、CLEAR を押して
削除するパスコードが登録されている場所を選びます。

PROG ENTER キー…右に移動　CLEAR キー…左に移動

□が表示される場合
パスコード登録無し
注)数秒後にERR表示と
信号音が鳴り
削除作業を自動終了します。

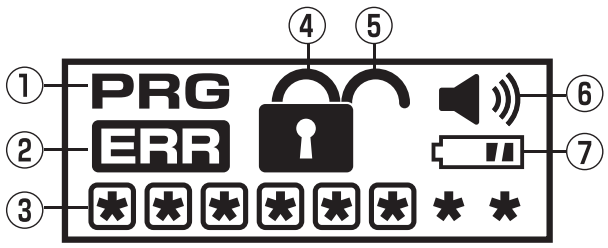
✱が表示される場合
パスコード登録済み

5 数字キーのゼロを4回押します。
0 0 0 0 と押します。

6 PROG ENTER キーを1回押します。
"ピーピー"と信号音が2回鳴ります。
削除完了

7 正しく削除されたかどうか、登録されていたパスコードで解錠できないことを確認してください。

液晶パネルの補足説明



①PRG　「PROG/ENTER」キーを押した場合、暗証番号設定中は表示され続けます。

②ERR　操作エラーの場合に表示され、数秒後に初期状態(液晶パネルに何も表示されない状態)に戻ります。
- 誤った順序で「PROG/ENTER」キーを押した場合
- 誤った暗証番号を入力した場合
- 5秒以内に暗証番号を入力できなかった場合

③✱　数字キーを押すと表示されます。
数字キーを押すたびに✱マークが追加されます。

暗証番号登録時に下記のように表示されることがあります

✱　オリジナルコード・パスコードが登録されている

□　オリジナルコード・パスコードが登録されていない

④　正しい暗証番号を入力した場合に表示されます。
(ロックが解除され、扉が開けられます)

⑤　セキュリティーロック(遅延モード)が発生した場合に約2分間表示され続けます。セキュリティーロックの作動中は、正しい暗証番号を入力しても、金庫のロックを解除することはできません。
(詳しくは7ページを参照してください)

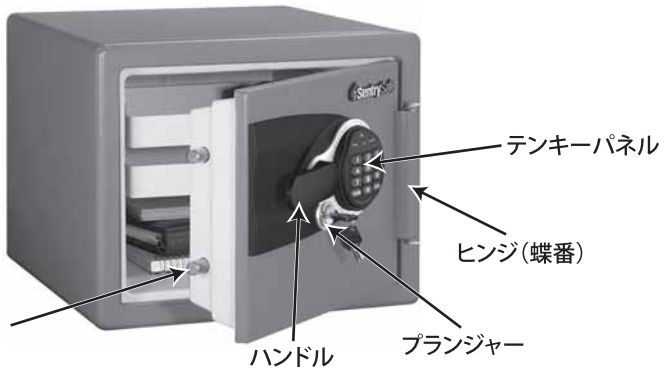
⑥　信号音が鳴る場合に表示されます。

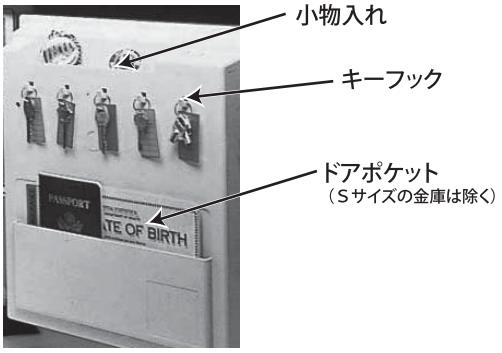
⑦　電池交換が必要な場合に表示されます。
(電池交換の方法は6ページを参照してください)

テンキー式金庫　●対象型式番号●　【JSW○○○○】または【MS○○○○】

・型式番号【JSW○○○○】はテンキーとキーロックの2重の施錠が可能な製品です。
・型式番号【MS○○○○】はテンキーのみでの施錠が可能な製品です。
※型式番号【MS○○○○】には補助キー機構がありません。

本体の名称





※トレイ・棚板・鍵付ドロワーなどの付属品はモデルにより異なります。
金庫内のファイル・ノートなどの収納物は付属されておりません。

ご使用開始前準備・電池交換の方法

テンキーパネルのネジの取り外しには、プラスドライバーが必要です。

①テンキーパネル下にあるネジを取り外してください。
※一部製品にはついていません。

②テンキーパネルを右に回して開けてください。

③電池を入れてください。
(単3アルカリ乾電池4本)

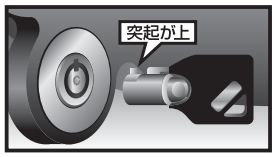
④配線コードの巻き込みに注意し、テンキーパネルを左に回し元に戻してください。

※黄色のランプが表示された場合は、電池を交換してください。
※付属の電池はモニター用ですので輸入の状況により性能が劣化している場合があります。
※電池のプラス・マイナス方向を間違えないようにしてください。
※非アルカリ (マンガン) ・充電式電池・オキシライド乾電池は使用しないでください。
※交換するときは全ての電池を新品の単 3 アルカリ乾電池と交換してください。
（電池は消耗品ですので保証対象外となります）
※電池を交換するときにパスコードが消えてしまう可能性があります。
※電池交換後は工場暗証番号もしくはオリジナルコードで解錠してください。

補助キーによる解錠・施錠方法

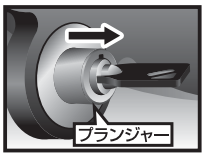
※型式番号【MS○○○○】の製品を除く

解錠時



①補助キーを
突起のある方を上にし、
鍵穴に挿入します。

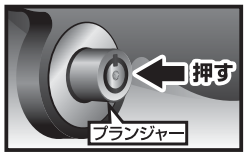
②補助キーを軽く前方に
押しながら、
右に1/4回転させます



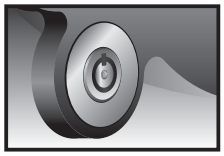
③プランジャーが前方に
出てきます。
キーロックが解錠されます。

④補助キーを
左に1/4回転させてから、
抜き取ります。
※補助キーは回転させないと抜き取れません。

施錠時



①プランジャーを押します。



②キーロックが施錠されます。

⚠ご注意！

補助キーがなくても、押すだけで施錠できますので、物等がぶつからないようにご注意ください。
※プランジャーが押し込まれている状態のときは、テンキーで解錠手順を行っても扉は開きません。

扉の開け方

お客様の工場暗証番号は、本説明書3ページの工場暗証番号欄をご確認ください。
※操作例は工場暗証番号ですが、お客様が設定した暗証番号でも同様の手順となります。

①ハンドルを水平位置まで上げてください。
(軽く上に上げて離してください。)

②プランジャーが上図のように突出しているかご確認ください。
突出していない場合は、鍵が施錠されています。補助キーにて解錠操作を行ってください。
(型式番号【MS○○○○】にはプランジャーはついていません。)

③工場暗証番号(3ページの工場暗証番号欄を参照)の数字キーを順番に押してください。
緑色ランプが点灯し、解錠されます。

④4秒以内にハンドルを下がるまで下げて扉を開けてください。

※扉が開いた状態でカンヌキが出てしまった (閉まらない) 場合は手順③からやり直してください。
※4 秒以内にハンドル操作をしないと、再び自動施錠されます。
※暗証番号は、それぞれ 5 秒以内に押してください。
※暗証番号を押し間違えたときは、CLEAR キーを押し、入力し直してください。
※工場暗証番号の変更・削除はできません。
※お客様が設定した独自の暗証番号でも、同じ操作で開けることができます。暗証番号の設定方法は 12 ページから 13 ページを参照してください。

⚠ ご注意！

セキュリティーロック(遅延モード)
登録されていない暗証番号が3回続けて入力されると、約2分間のセキュリティーロックが自動的に作動します。
セキュリティーロックの作動中は、正しい暗証番号を入力しても耐火金庫のロックを解錠することはできません。

扉の閉め方

①扉のカンヌキが出ていないことを確認してください。
(カンヌキが出ている場合は「扉の開け方③」からやり直しカンヌキを引っ込めてください。)

②庫内の収納物が扉に挟まっていないことを確認してください。

③扉を静かに閉め、ハンドルを水平位置まで押し上げてください。

④ハンドルが下がらないことを確認してください。
(ハンドルが下まで動かなければ施錠されたことになります。)

扉が閉められない及び施錠できない場合は・・・

・カンヌキが出ていませんか？
→ カンヌキが出ている状態で扉を閉めようとすると、本体に傷をつけるだけでなく、施錠機構の故障につながります。カンヌキの損傷修理は有償となります。

・カンヌキ穴、もしくは、本体と扉の間に収納物がはさまっていませんか？
→ 収納物をはさんだ状態で強引に閉めると金庫が開かなくなることがあります。

・庫内に物を入れ過ぎていませんか？トレイなどが前に出過ぎていませんか？
→ 強引に閉めると金庫が開かなくなることがあります。

・ハンドルを水平位置に移動するには若干の力を要します。
→ 庫内密封によりハンドルが重くなりますが、性能に問題はありません。

※トレイ・棚板・鍵付ドロワーなどの付属品はモデルにより異なります。
金庫内のファイル・ノートなどの収納物は付属されておりません。

暗証番号の設定

暗証番号の種類

第1コードの「工場暗証番号」、第2コードの「オリジナルコード」、第3コードの「パスコード」の3段階での管理が可能です。

・第1コードの工場暗証番号は、変更・削除ができませんので、お客様にて大切に管理してください。
　お客様の工場暗証番号は、本説明書3ページの工場暗証番号欄をご確認ください。
・第2コードのオリジナルコードは、第1コードの工場暗証番号を用いお客様にて設定ができます。
・第3コードのパスコードは、第2コードのオリジナルコードを用いお客様にて設定ができます。
※パスコードのみ、電池を交換すると消える可能性があります。その際は、再度パスコードの設定をしていただく必要があります。

①製造時より設定されている暗証番号（変更・削除できません）

暗証番号の種類	登録数	登録・変更・削除	設定可能な桁数	備　考
第1コード 工場暗証番号 (3ページをご参照ください)	1個のみ	×	―	製造時に当耐火金庫固有に設定されており、 変更・削除はできません! ※取り扱いには十分ご注意ください

②お客様に設定していただく暗証番号

暗証番号の種類	登録数	登録・変更	削除	設定可能な桁数	備　考
第2コード オリジナルコード	1個のみ	○ (工場暗証番号が必要)	×	5桁	暗証番号「00000」は設定できません。
第3コード パスコード	1個のみ	○ (オリジナルコードが必要)	○	5桁	暗証番号「00000」は設定できません。

暗証番号の登録・変更・削除

【登録・変更・削除の前に】

キー操作はそれぞれ5秒以内に行ってください。
※5秒以上経過すると赤色ランプが点滅して、3回信号音が鳴り、作業が自動終了します。

《（第2コード）オリジナルコードの登録・変更方法》

※登録と変更方法は同じ手順になります。

1 (PROG) **キーを1回押します。**

2 **工場暗証番号**（5桁）**の数字キーを順番に押して下さい。**

3 **オリジナルコードとして登録する番号の数字キーを順番に押します。（5桁）**

※「00000」の暗証番号は設定できません。

登録完了

※番号を押している間、緑色ランプが点灯しています。5桁の番号を押し終わると、緑色ランプが消灯します。

4 正しく登録されたかどうか、オリジナルコードで解錠できることを確認してください。

《(第3コード)パスコードの登録・変更》

※オリジナルコードを登録しないとパスコードは登録できません。

1 (PROG) キーを2回押します。

2 オリジナルコードとして登録した番号の数字キーを順番に押します。(5桁)

3 パスコードとして登録する番号の数字キーを順番に押します。(5桁)
※「00000」の暗証番号は設定できません。
登録完了

4 正しく登録されたかどうか、登録したパスコードで解錠できることを確認してください。

《(第3コード)パスコードの削除》

1 (PROG) キーを2回押します。

2 オリジナルコードとして登録した番号の数字キーを順番に押します。(5桁)

3 数字キーのゼロを5回押します。
(0) (0) (0) (0) (0)
と押します。
削除完了

4 正しく削除されたかどうか、登録されていたパスコードで解錠できないことを確認してください。

ランプ・信号音の補足説明

・緑色ランプ＋1回の信号音

1) 暗証番号の各番号を入力したとき
2) 「CLEARキー」及び「PROGキー」を押したとき

・緑色ランプ(継続的点灯)

1) 登録されている暗証番号のいずれかが正しく入力され終えたとき
(入力後4秒ほどして消えます。)
2) オリジナルコード及びパスコードの番号入力しているとき
(入力し終えると消えます。)

・赤色ランプ＋3回の信号音

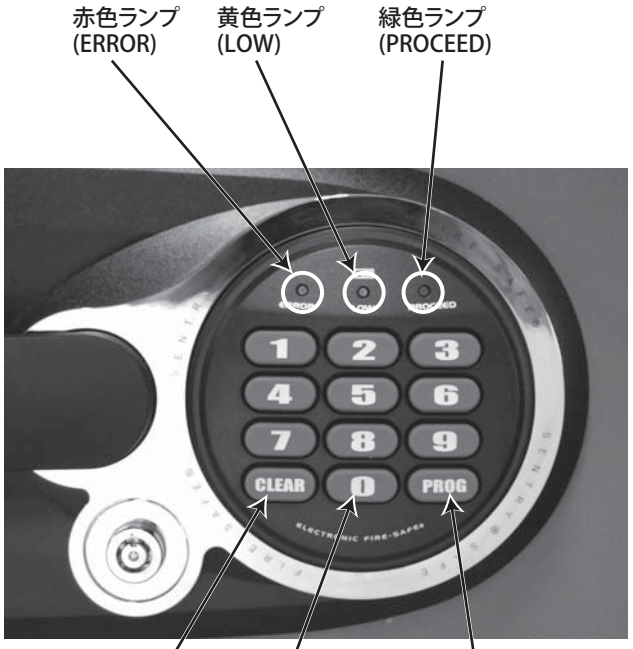
1)登録されていない暗証番号を入力したとき
2)セキュリティーロックが作動しているとき
(登録されていない暗証番号を3回続けて入力されると、約2分間のセキュリティーロックが自動的に作動し、正しい番号を入力してもエラーとなります。)
3) 暗証番号入力時に、各キーを押す間隔が5秒以上経過したとき
4) 「PROGキー」を押し、その後何も入力をしなかったとき

・赤ランプ＋5回の信号音

暗証番号入力後、赤いランプが点滅し、信号音が5回鳴る場合は、故障の可能性があります。セントリーカスタマーサービスセンター(03-5447-5311)にお問合せください。

・黄色ランプ

電池の交換を行ってください。
交換方法は10ページをご確認ください。



床への固定について

ご希望の方に対し、ボトルダウンキットを無償送付いたします。

（セントリーカスタマーサービスセンター**03-5447-5311**までご連絡下さい）

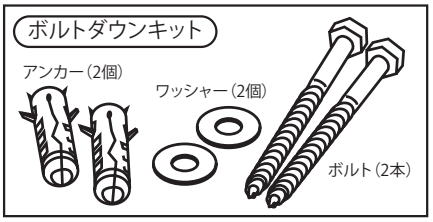
■床固定作業はお客様の判断にて実施して下さい。
■床固定作業のための業者の手配は可能です。（有償となります）
　また、商品交換を含め、これの費用負担の責任は負いません。

⚠ 危　険

穴を開けようとする床下に電気コード、電話線、水道管、空調管、その他ワイヤー、ライン、ケーブル、導管等がないことを事前に確認して下さい。これらの近くには穴を開けようとしないで下さい。これらの危険物に穴を貫通させると、感電、ガス漏れ、熱湯管の破裂による死亡又は事故の原因になったり、建物に損傷を与える恐れがあります。

⚠ 注　意

耐火金庫にドリルで穴を開ける時には、底部の指定位置にのみ穴を開けて下さい。耐火金庫の横面や縦面に穴を開けないで下さい。所定位置以外の場所に穴を開けると耐火機能の劣化につながります。



固定作業に必要な道具

・電動ドリル
・レンチ
・11㎜ドリル・ピット（床下が空洞になっている木の床の場合）
・7.2㎜ドリル・ピット（床下が空洞でない木の場合）
・9.5㎜石工用ドリル・ピット（コンクリートや石の床の場合）

床への固定方法

① 耐火金庫を上下逆さまにしてください。耐火金庫の底の2角(対角)に凹みがあります。11mmドリル・ビットを使い、耐火金庫の底に垂直にドリルをあてて2つの凹みに穴を開けてください。(図A)

② 耐火金庫を元通りに立てて、ご希望の設置場所に置いて下さい。釘またはドリル・ピットを使って、床に①で開けた穴の位置の印をつけて下さい。（図B）穴の位置に印をつけたら耐火金庫を横にずらして、床に印をつけた2ヶ所にドリルで穴を開けて下さい。（図C）

③ A.床下が空洞になっている床の場合
　印をつけた場所が床板を支える梁の上でないことを確認して下さい。その後11㎜ドリル・ピットを使い、印をつけた2ヶ所に床を突き抜けて穴を開けて下さい（図C）

　B.床下が空洞でない木の場合
　7.2㎜ドリル・ピットを使って、印をつけた2ヶ所に64㎜の深さの穴を開けて下さい。（図C）

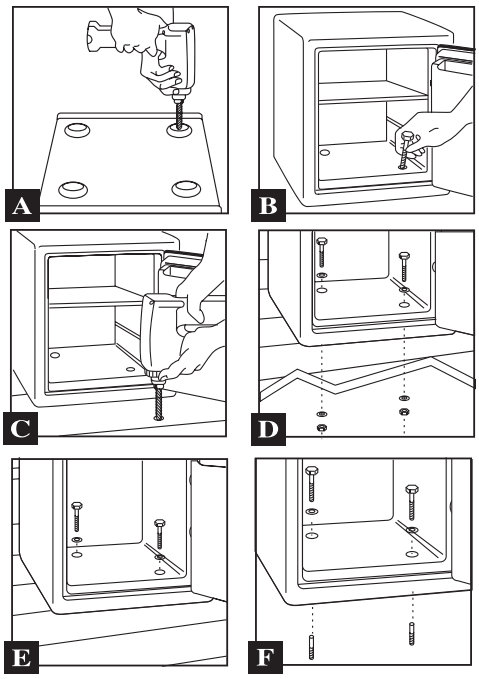
　C.コンクリートや石の床の場合
　9.5㎜の石工用ドリル・ピットを使用して、印をつけた2ヶ所にそれぞれ64㎜の深さの穴を開けて下さい。（図C）各穴にアンカーを接着して下さい。

④ 耐火金庫を設置場所に戻して、耐火金庫の底部の穴と床の穴を合わせます。

⑤ A.床下が空洞になっている床の場合
　耐火金庫をボルト、ワッシャーで固定し、レンチでしっかり閉めてください。（図D）

　B.床下が空洞でない木の場合
　ボルトをワッシャーに通して耐火金庫の穴から床穴に差し込み、レンチでしっかり閉めて下さい。（図E）

　C.コンクリートや石の床の場合
　ボルトをワッシャーに通して耐火金庫の穴からコンクリート又は石の床穴のアンカーに差し込み、レンチでしっかり閉めて下さい。（図F）



耐性テストの説明

●UL2時間耐火テスト
最高1010℃で製品を2時間焼却、その後製品が炉外に取り出されることなく炉内温度が平温に戻るまでの数時間高温の炉内放置されても、製品内部の温度は177℃以下を維持します。

●UL１時間耐火テスト
最高927℃で金庫を1時間焼却、その後製品が炉外に取り出されることなく炉内温度が平温に戻るまでの数時間高温の炉内に放置されても、製品の温度は177℃以下を維持します。

●UL爆発テスト
1093℃まで急激に加熱された炉の中に製品が20分置かれても製品が爆発したり破裂したりしません。

●UL落下衝撃テスト
843℃で30分焼却した後に製品を9.1mの高さからの瓦礫の上に落下させ、冷却し、製品を逆さまに置き換え、再度843℃で30分焼却します。テスト後、製品が外形をそのまま保って施錠されており、製品内部の温度が177℃未満を保ちます。

●ETLデジタルメディア耐火テスト
従来のUL認定に加え、2時間耐火の場合は1010℃、1時間耐火の場合は927℃にてCD/DVD/USBフラッシュメモリ・SDカードなどの熱に弱い記憶媒体の格納も検証・認定されています。

●ETL耐水テスト（※【MS○○○○】には耐水機能はございません。）
下底部15cm未満の浸水に対し、耐水性能が検証・認定されています。

UL（Underwriters Laboratories）とは
アメリカに本拠地を置く、製品安全の試験・認証機関です。ULは100年以上に渡り膨大な種類の製品や部品の安全規格への適合性評価業務とマネジメントシステムの国際規格への審査業務を実施しています。

ETL SEMKO社とは
ETL SEMKO社は、Electrical Testing Laboratories(ETL)と欧州で長年試験認証を行ってきたSEMKOが合体した検査機関です。

警告!
フロッピーディスク、カートリッジ・テープ、オーディオ・ビデオカセット、写真ネガ等は保管しないでください。
これらのメディアの保管には
セントリーメディアセーフ「1710」「6720」をお求めください。

こんなときは・・・・・・・・

テンキー式の場合

Q. 液晶パネルに が表示、またはLOW(黄色いランプ)が点灯している。または、テンキーを押しても反応がない。

A. 電池の残りが少なくなっています。新しい単3アルカリ乾電池に4本全て交換してください。

Q. テンキーを押すと緑色と黄色のランプが点灯する。

A.1) 電池が正しく入っているかどうか電池の方向を確認してください。
2) 電池切れの可能性があります。新しいアルカリ乾電池4本全て交換してください。

Q. 使い始めてすぐに、液晶パネルに が表示、またはLOW(黄色いランプ)が点灯した。(同梱電池を使用時)

A. 同梱の電池はモニター用ですので輸入の状況により性能が劣化している場合があります。
新しい単3アルカリ乾電池に4本全て交換してください。

Q. 液晶パネルに ERR が表示、または赤色のランプが点滅して、信号音が3回鳴る。

A. 入力した番号が間違っている可能性がございます。登録されていない暗証番号が3回続けて入力すると約2分間のセキュリティーロックが自動的に作動します。しばらく時間をおいてから暗証番号を入力してください。

Q. 液晶パネルに ERR が表示、または赤色のランプが点滅して、信号音が5回鳴る。

A. 故障の可能性があります。セントリーカスタマーサービスセンター(03-5447-5311)までご連絡ください。

テンキー式及びダイヤル式の場合

Q. 解錠したのに扉が開かない。

A. 1) ハンドルを水平位置まで上げて、再度解錠してください。
2) プランジャーが突出しているかどうか確認してください。プランジャーが突出していない場合、補助キーにて解錠してください。

工場暗証番号/ダイヤル番号/補助キー番号がわからなくなってしまった・・・

工場暗証番号/ダイヤル番号/補助キー番号がわからなくなってしまった場合、型式番号・製造番号にて調査いたします。
(全て有償対応となります。)
セントリーカスタマーサービスセンター(03-5447-5311)までご連絡ください。

補助キーが欲しい・・・・・・・・・

セントリーカスタマーサービスセンター(03-5447-5311)までご連絡ください。

棚板・トレイが欲しい・・・・・・・・・

製品を購入された販売店にお問合せください。※弊社での直接販売はしておりません。

ご不明な点はセントリーカスタマーサービスセンター **03-5447-5311**

または、ホームページ **www.sentryjp.com** (お問い合せフォーム)までお問い合せください。

日本国内におけるセントリーグループの限定保証約款

本約款は日本国内においてのみ適用されます。
米国ニューヨーク州ロチェスター市リンデンアヴェニュー900にある住所のあるセントリーグループ（以下、製造者）は、本保証書に記載されている条件に基づきこの製品を保証します。

構造上および機械的な欠陥に対する保証

本製品の最初の購入者に対して、購入日より1年間、材質・製造上の理由による構造上または機械的な欠陥がある場合は、無償交換いたします。

火災による損害に対する保証

最初の購入者による使用期間内に本製品が火災により損傷を受けた場合、セントリー製品を無償交換いたします。最初の購入者の名前・住所と、損害製品の写真を含む火災の事実を製造者にご提出ください。損傷した製品と同等製品に交換いたします。
製造者は、いかなる状況においても、セントリー耐火金庫内のすべての保管物があらゆる種類の火災またはその他の損傷に耐えうることを保証するものではありません。セントリー耐火金庫が火災その他の損傷を受けた場合、またはその他のいかなる状況においても、セントリー耐火金庫内の保管物に対しては一切責任を負いません。

限定条項

1. この保証の下での製造者の唯一の責任、また購入者が受けられる唯一の補償は、上記の欠陥のある部品または製品の修理、交換、返金のみです。製造者の過失または契約不履行により損失・損害を受けた場合、それらの有形財産の損失・損害に対し製造者は製品購入価格の額を弁償いたします。その地域の法律によって特に禁じられている場合を除き、適用可能な法律により許される限りにおいて、製造者は上記製品購入価格の賠償以外は、責任を負いません。また、結果的、間接的、または特別な損害・損傷に対しては、それらが契約、不法行為またはその他のいかなる理由でも、製造者はその責任を負いません。それらすべては明示的に除外されます。
   本保証書のすべての内容は、製造者の過失により生じる死亡または個人的損害に対する責任を限定するものではありません。
2. 適用可能な法律に従い、製造者は満足のいく品質または販売可能な品質、あるいは目的に対する適合性に関する黙示的条件を含め、明示的または黙示的、口頭または書面によるすべての保証、条件をここにおいて否認します。それらすべては明示的に除外されます。
3. この保証は、本製品を購入した小売店に対するいかなる法定上または契約の権利に対し、影響を与えません。
4. 限定付の明示的保証は、法律が禁じられている地域を除き、以下の場合無効になります。製造者はそれらによって生じたいかなる損失または損害（結果的、間接的または特別な損害を含む）に対しても責任を負いません。
   （a）製造者の事前の承諾なしに当社の工場外でなされた製品の修理　（b）輸送途上で生じた製品の損害　（c）製造者または製造者により認可された代理店以外の者による修正、変更、修理、またはサービスが原因で生じた欠陥　（d）製品の物理的濫用または誤用。
5. これらの製品使用上欠かせないすべての予備部品は、保証期間中を通じ用意いたします。
6. 製造者のエージェント、従業員、代理者、ディーラーまたは小売店の関係者すべてにおいて、明示的、黙示的に、この限定保証の条件内容を追加・変更するようなあらゆる表示、約束または合意を行ったり、黙示的にそれらを行う権利はありません。
7. この限定保証は新品の一流品質に認定されたセントリー製品に適用されるものであり、工場における二流品または前に他の人が所有していた製品、個人売買、中古製品、個人インターネットオークションでの購入品など、販売店での初回購入者以外には適用されません。この限定保証の全ての条項は、其々分離独立して適用されます。
8. 以前に火災により損傷を受けたことのある製品は、その耐火・耐水機能対しての保証はいたしません。
9. 購入者はこの限定保証書を読み、そこに販売された製品に関する製造者の表示、保証、条件および責任を限定または免除する条項が含まれていることを認めます。また購入者はこの限定保証の条件、条項をすべて完全に了承します。

保証サービスを受ける方法

製造者セントリーグループは、日本国内における当限定保証約款の内容に基づいた保証サービスの実行を、セントリー日本株式会社に委託します。日本国内に置いて保証サービスを希望される場合、セントリー日本株式会社（03-5447-5311　セントリーカスタマーサービスセンター）にご連絡下さい。
（注）お買い上げ証明書（レシート・納品書等）は大切に保管して下さい。提示が必要となります。「購入証明」がない場合は、故障修理時に有償となります。

輸入・発売元（本製品に関する、お問合せは以下のとおりです。）
セントリー日本株式会社
〒141-0022
東京都品川区東五反田2-20-4 NOF高輪ビル5F　FAX:03-5447-5318
セントリーカスタマーサービスセンター
TEL 03-5447-5311
ホームページ **www.sentryjp.com**